

# 子どもの教育を後退させ、地域の存続を危うくする「学校統廃合」!!

## 教職員を大幅削減、 1クラスの児童数は増加

次の表は統合される学校の教職員数です。100人以上の職員が減らされる「大リストラ」です。

### 現在の教職員数

東雲小 (25人)、興津小 (29人)、  
武佐小 (25人)、新陽小 (24人)、  
城山小 (30人) 【合計】133人

その一方、子どもたちの1クラスの人数が増えます。

#### 城山小4年生

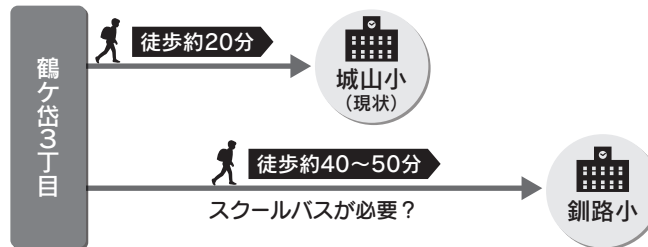
令和8年度、統合しなければ1クラス20人、  
統合したら 33人

#### 武佐小5年生

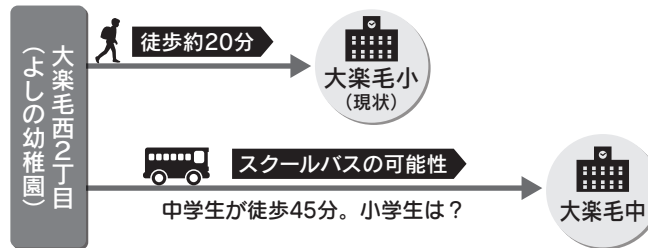
令和9年度、統合しなければ1クラス14人、  
統合したら 30人

保護者の皆さんが求めているのは「教員を増やすこと」と「少人数学級」です。その願いに反します。

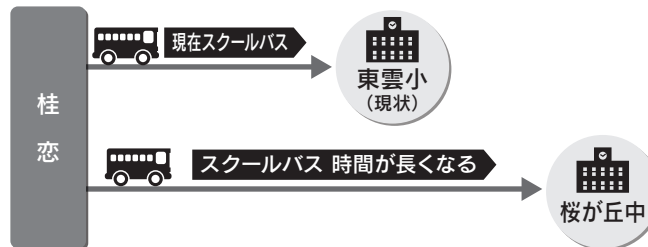
城山小を釧路小に  
統合したら



義務教育学校に  
なったら



義務教育学校に  
なったら



統合後、児童生徒の通学距離が長くなります。児童の安全は守れるのでしょうか？ 中学生でも45分かかかる学校までの距離を小学生が徒歩通学？ 更に、児童センターも遠くなり「不便さ」を強いることとなります。

## 学校や児童センターが遠くなります

「学校は地域コミュニティの核であり、地域づくりと密接不可分」(文科省)です。その学校が地域からなくなる。特に、支所廃止が提案された東部地域と大楽毛地域にとっては「大問題」です。その一方で鉄道高架は「前のめり」。地域「切り捨て」につながる統廃合です。

### 2031年までに 統合される学校

#### 東部地域

東雲小・朝陽小・  
興津小・武佐小・  
(桜が丘小又は春採中がなくなります)

#### 南部地域

城山小

#### 北部地域

美原小

#### 西部地域

新陽小・大楽毛小

阿寒地区と音別地区も  
学校が一つになります

## 地域の学校がなくなります

「小中一貫とそれに付随して小規模校を統廃合することは、子どもにとって最善の策」として、教育委員会は21の小中学校を10校に「集約」する計画を示した。しかし、「小中一貫・義務教育学校」が「学力向上・不登校対策の特効薬」にはなりません。様々なケースがあり、子どもの成長・発達から検討すべきです。政府が進める「小中一貫」は、それによって学校統廃合を進めることが最大の狙いです。そして、市の計画には様々な問題があります。

市民が主人公  
日本共産党

釧路市議団だより

発行：日本共産党議員団 <http://jcpsigi.com/>  
釧路市役所本庁舎2階 TEL・FAX 0154-23-5212

2022年  
7・8月号



日本共産党  
釧路市議団 HP

このチラシは政務活動費で作成しています

# 住民説明会での意見

## 支所廃止反対17本、賛成はわずか2本

「支所廃止地域に統合・廃止対象の学校も集中している。支所も学校もなくなると、そのあとの地域づくりをどうするか」と迫ったのは梅津議員。市は、その後の地域をどうしていくか、ほとんど検討していないことが分かりました。

### 支所も学校も!? 地域をどうするのか?

「支所廃止地域に統合・廃止対象の学校も集中している。支所も学校もなくなると、そのあとの地域づくりをどうするか」と迫ったのは梅津議員。市は、その後の地域をどうしていくか、ほとんど検討していないことが分かりました。

### 会計年度任用職員の「首切り」はダメ

9回開かれた「支所のあり方に関する住民説明会」、発言のほとんどは支所廃止反対、廃止容認は2本だけ。工藤議員と村上議員が「反対が圧倒的だった以上、市の廃止方針は撤回すべき」と迫りましたが、市は説明会での意見を踏まえて、内部で検討すると答えるだけ。住民の圧倒的な意思を無視して廃止を強行することは絶対に許されません。

# 共産党議員団の提案

6月議会では西村議員が、子どもの医療費無料化と学校給食費の無償化を求めて市長と論戦しました。「せめて小学校1、2年生の通院費を無料化した場合いくらかかるのか」とたずねると「年間およそ4150万円」との答弁。釧路市の財政規模からすると微々たる額ですが、頑なに拒む蝦名市長。全国的には小学校入学前まで無料の自治体は極めて少数です。

また釧路市ではこの春から学校給食費が6%程度値上げされました。しかし釧路町では、1年限りですが、無償化されます。釧路市はコロナ交付金を使って「給食食材高騰対策事業」を行うと言うものの、その中身は今年度更なる値上げをしないための支援事業というお粗末さ。学校給食費の無償化にはおよそ5.5億円かかりますが、義務教育を無償化するために必要な事業です。

小学1・2年生



## 通院費無料

4150万円

## 給食費の無償

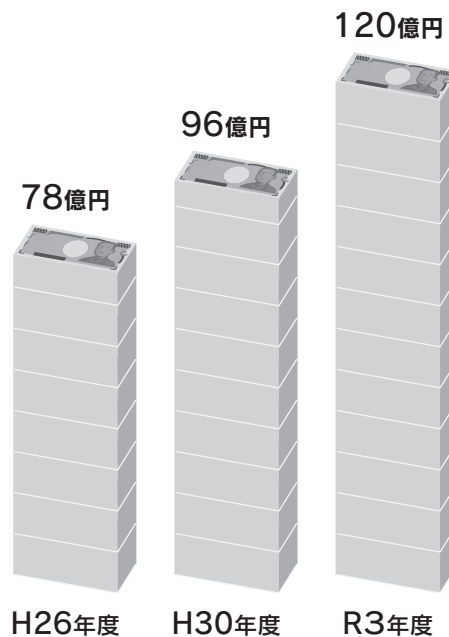
5.5億円

# すべてにでもつかる



## 財源は120億円の「積立金」を

積立金残高



釧路市の「ため込み金」(積立金)は120億円まで増えました。与党議員からも「釧路市は毎年財政が厳しい厳しいと言いつつ続けている。これでは信用されなくなる」とくぎをさされる場面も。コロナ禍で市民の暮らしの厳しさを考えるならば、ため込み金の活用で市民生活の支援に回すのが当然です。福祉に使うことよりもため込みことが優先の蝦名市政。どこまでためれば気がすむのでしょうか。

## 適格請求書等保存方式(インボイス制度)の導入中止を求める意見書、議会で否決に!

すべての事業者に事務負担の増加を強いるとともに、500万を超える免税事業者が取引から排除されるおそれがあるインボイス制度。北海道商工団体連合会などから中止を求める要望書が議長宛に送られ、それを受け共産党議員団が意見書案を提出しました。しかし公明党議員から「個人事業主が取引から排除されるなんて不安をあまりすぎ」などと攻撃が。賛成少数で否決となりました。

適格請求書(インボイス制度)の導入中止を求める意見書が議会で否決

| 政党  | 採決結果 |
|-----|------|
| 共産党 | ○    |
| 市民連 | ○    |
| 自政ク | ×    |
| 公明党 | ×    |
| 創志会 | ×    |

## 安全、安心の医療・介護・福祉を求める4つの陳情を否決

「医師・看護師・医療技術者・介護職員の増員」「公立・公的病院の再編統合と病床削減に反対」「保健所の拡充と保健師の増員」「75歳以上の医療費窓口負担の2倍化に反対」の4つの陳情が出されました。しかし、共産党と市民連(立憲・社民)のみの賛成で否決。反対した自民、公明、創志会は、厚岸・標茶・弟子屈の公立公的病院は無くなってかわらない、医師や看護師を増やさなくてよい、保健所の拡充にも反対ということなのでしょうか。